

# 道後ピクルス

代表者 / 代表 河野 ゆかり  
業 種 / 食品製造・販売  
所在地 / 愛媛県松山市清水町1丁目3-8 1F  
連絡先 / 089-917-6760

## SDGs 達成に向けた取組み

### ピクルス液パウチ開発とピクルス作り体験・ワークショップ実施



#### 目的・背景

余った食材で誰もが手軽にピクルスを作れるように、「ピクルス液パウチ」の開発に取り組みました。「ピクルス液パウチ」は、家庭にある余り野菜をカットして入れるだけで、誰でも美味しいピクルスを作ることができる商品で、消費者が様々な食材でピクルスを作る楽しさを感じながら、気軽にフードロス削減に貢献できます。

また、商品の製造・販売だけではなく、ピクルスを作る楽しさやフードロス削減の意義を伝えるためにピクルス作り体験・ワークショップも実施しました。ピクルス作り体験・ワークショップを通じて、一人ひとりの小さなアクションを促し、環境負荷の軽減に貢献できればと考えています。

フードロスは、ただ食べ物が無駄になるという問題だけではなく、例えば、水分を多く含む食品の焼却処分には大量のエネルギーが必要で、生産・保管・加工・輸送・消費・廃棄の全ての過程においてエネルギーが使われ、炭素が排出されます。そのため、生き物の命や生産者の労力だけでなく、流通の過程で使用されるエネルギーや資源も無駄になり、環境への負荷が高まります。

そうした問題に日常生活の中で少しでも目を向けてもらい、消費者の皆様により良い選択肢を提供したいというのが道後ピクルスの想いです。そのために、流通せずに廃棄されてしまう農作物に新たな価値を吹き込むなどして、消費者の皆様がエシカルな商品を届けられるように日々取り組んでいます。少しでも食品の廃棄や環境への負荷を減らし、未来の世に、美味しくエシカルな商品を提供できる社会を築いていきたいと考えて取り組んでいます。



#### 【ピクルス作り出張体験・ワークショップ】

「工房でピクルス作り体験」や「出張ピクルス作り体験」など、お客様と一緒にピクルスを作り、フードロスの問題やその解消に向けた当社の取組みについて知ってもらい、大人だけでなく子どもたちにも SDGs についての理解を深めて行動につなげてもらうための機会を提供しました。

令和5年度はこれまで計16回のピクルス作り出張レッスン/ワークショップを開催し、これまで157名の方にご参加いただきました。



#### 成果

ピクルス液パウチを開発し、クラウドファンディングのリターン品として19名の方にお届けしました。また、10名の方にモニターとして実際にピクルス液パウチを試してもらい、アンケートにも回答いただきました。現在はモニターの皆様からいただいたアンケート結果を元に、令和6年の本発売に向けて準備を進めております。すでに道後十五万石、三越店、いとまちマルシェで販売が決まっております。また、パウチだけを販売するのではなく、市場に流通せずに廃棄されてしまう規格外の農産物とセットでオンライン販売するなど、全国の消費者がフードロス削減に直接貢献できるような形の販売も検討しています。他にも、誰もが気軽に参加できるフードロス削減のアクションとして、ピクルス作りの楽しさやフードロス削減の意義を体感してもらおうピクルス作り体験・ワークショップに取り組んでいます。お客様からは下記のような声をいただいております。

「ピクルスの概念が変わった」「レッスンで持ち帰ったピクルスを子どもが家でも作ってほしいと喜んだ」「お酢の苦手な家族が喜んで食べるようになった」「家でもピクルスをつくるのが習慣になった」「瓶に入れたピクルスが可愛いので友達にもプレゼントしている」「今まで捨てていた大根の皮などもピクルスにして食べるようになった」「野菜をたくさん食べるようになった」など生徒の皆さんははとでも前向きに捉えてくださり、存在意義を感じています。



#### 具体的な取組内容

##### 【ピクルス液パウチの開発】

- 令和5年6月 ピクルス液の商品開発に着手
- 令和5年11月 クラウドファンディングのリターン品として出荷
- 令和5年11月 販売開始に向けてモニターを募集
- 令和5年12月 モニターの皆様からのアンケートを元に最終調整

クラウドファンディングでは、下記の3つをリターン品として出荷。

【プチ応援！ピクルス液パウチ一袋1,000円】

【ピクルス液パウチ6種類セット】

【愛媛の季節野菜詰め合わせ+ピクルス液パウチ6種類セット】

プロジェクトページ：<https://camp-fire.jp/projects/view/689070>

家庭にある様々な野菜や果物に合うように、6種類のピクルス液(みかん酢・和風・洋風・マスタード・にんにく醤油・塩麹)を開発しました。

#### 担当者の思い

私たちは、廃棄されてしまうはずだった野菜や果物をアップサイクルし、ピクルスとして加工・販売することで、愛媛県の美味しい農産物の地産地消、地産知招を促進し、生産者や農業が抱える課題の緩和や解決の糸口を探しながら、持続可能なビジネスとして循環型社会を構築していくことを目指しています。



また、商品を製造・販売するだけではなく、生産者が消費者と一緒にワークショップなどに取り組むことで、SDGsへの関心を高めたり、広く普及したりするきっかけを提供できると考えています。実際に、親子でワークショップに参加したお母さんとお子様も、自宅でピクルスを作り、でき上がるのを楽しみに待っていてくれたりします。小さなお子様でも簡単に作れますし、苦手な野菜もピクルスにすると美味しく食べられたりするので、食育にも貢献していると自負しています。

SDGsの取組みにおいては、自分が知ったことを実践するだけでなく、大きな影響力を持って発信していくことも重要です。そのために、「1人の100歩よりも、100人の1歩」という考え方に賛同し、家庭で簡単にピクルスをつくれる「ピクルス液」を商品化しました。日常の習慣として一人ひとりが小さな行動を積み重ねていくことで、自然とフードロス削減に貢献できます。こうした私たちの取組みが、健康的な食生活やエシカルな消費を広く普及させ、持続可能な未来を築く一助になると信じています。

〈代表 河野 ゆかり〉